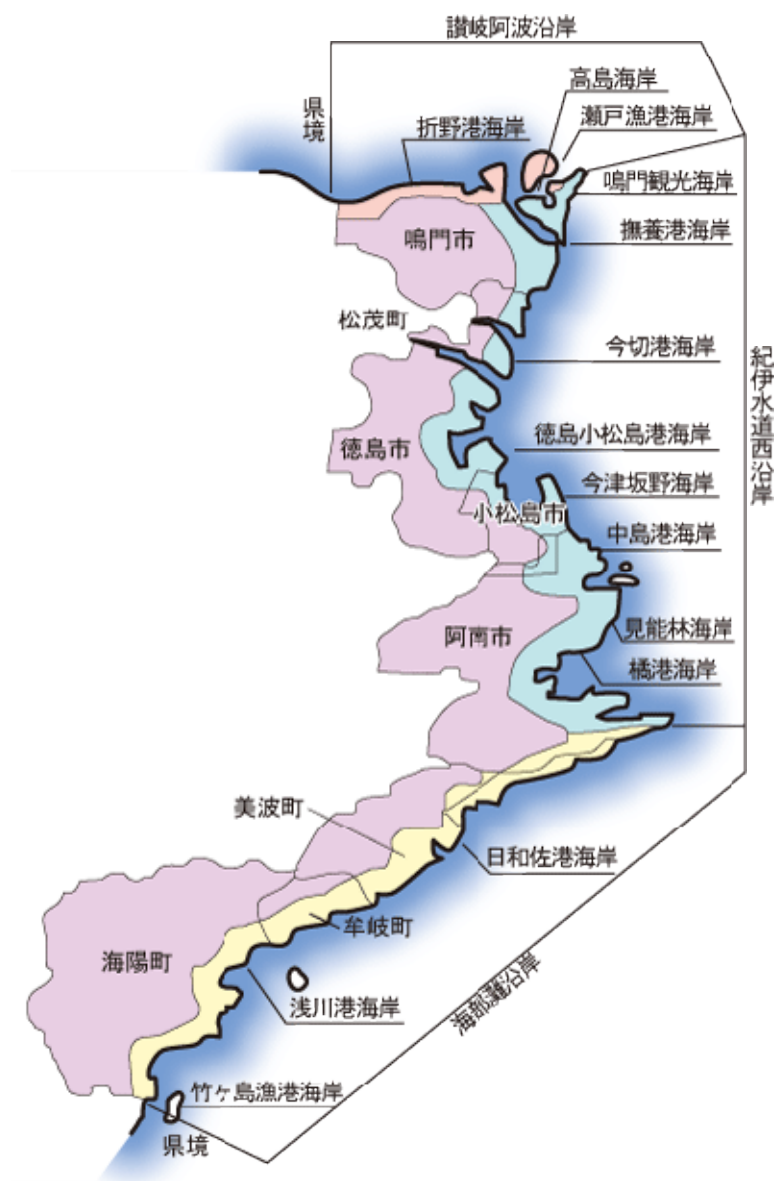


徳島県の沿岸域

徳島県の沿岸域は、北は播磨灘（讃岐阿波沿岸）、東は紀伊水道（紀伊水道西沿岸）、南は太平洋（海部灘沿岸）に面し、古来より種類豊富な水産資源に恵まれているほか、海上交通の場や観光地として地域の発展に寄与しています。

徳島県下の3沿岸では、それぞれ異なった自然環境を有しているため、過去の海岸災害による被害の状況も特徴的であり、これに対する海岸保全の方向性も異なります。



徳島県下における沿岸域

・讃岐阿波沿岸

讃岐阿波沿岸は、鳴門海峡で知られる徳島県鳴門市の孫崎から香川県三豊市荘内半島の三崎に連なる四国北東部の瀬戸内海に面した沿岸で、本州と四国地域を繋ぐ瀬戸大橋と大鳴門橋が架かる四国の玄関口にあたり、徳島県側では鳴門市が位置しています。

当沿岸では、讃岐山脈が海岸線まで迫るため平地が少ない地形となっています。



讃岐阿波沿岸の海岸状況(ウチノ海)

・紀伊水道西沿岸

紀伊水道西沿岸は、徳島県鳴門市の孫崎から阿南市南端の蒲生田岬に連なる紀伊水道に面した沿岸で、鳴門市から阿南市までの4市1町が位置しています。

吉野川や那賀川河口には平野が広がり、徳島県の中心市街地が形成されています。

また、沿岸一帯は沈降海岸で、東西に分布する地質構造の影響を受け、島しょ・礁を形成し、橘湾付近では沈降型の多島海を、小松島市和田島付近では砂嘴(さし)地形を示しています。



紀伊水道西沿岸の海岸状況(北ノ脇海水浴場)

・海部灘沿岸

海部灘沿岸は、徳島県阿南市南端の蒲生田岬から高知県室戸岬に連なる四国東南部の太平洋に面した沿岸で、徳島県側では阿南市から海部郡海陽町までの 1 市 3 町が位置しています。

海部山地が海岸線まで迫るため平地は少ない状況です。蒲生田岬から美波に至る間はリアス式の断層海岸で、千羽海崖は高さ240m に達し、海部郡美波町から南は八坂八浜などの岩礁と白砂青波の渚が交互に現れる海岸線に変わります。



海部灘沿岸の海岸状況(千羽海崖)